

2025年7月25日

報道関係各位

第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会  
学術大会長 榎田 出



謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当会会期中は、恐れ入りますが下記の取材規定に則っての取材をお願いいたします。万が一、本取材規定に反した場合は、貴社に対して対応を申し入れる場合があることご了承ください。

謹白

### 取材規定

#### I. 総則

1. 報道関係者は本学術大会に関するあらゆる取材活動において、本規定の他、運営事務局の指示に従ってください。事前に申請がされていない方の取材はお断りします。
2. 報道関係者は、参加費は無料です。来場者全員の名刺を受付にてご提出ください。
3. 会場内では、受付時にお渡しするプレス証・腕章を必ずご着用ください。
4. プレス証・腕章は、取材終了時にプレス受付までご返却ください。

#### II. 取材

1. 本学術大会に関係しない内容の取材活動はすべてお断りいたします。
2. 写真ならびにビデオ撮影に関しましては、報道目的のみとします。なお、ビデオ撮影ならびに終了後の個別取材は、原則として事前に運営事務局及び演者本人の承認を得ている取材のみとさせていただきます。また、他の参加者の妨げにならないよう、ご注意ください。全体像の写真または会場内の写真撮影を行う場合は、予め運営事務局までお申し出ください。
3. 対象者以外の撮影は避けるようにし、写った場合には、個人が特定できないようご配慮ください。
4. 発表・討論を通じて、健診受診者や患者等個人が特定できる、もしくは、プライバシーに触れる可能性がある事項に関する取材・撮影はご遠慮ください。
5. 発表スライドやポスター発表の掲示物の撮影は原則禁止です。大きな音を出したり、フラッシュを焚いたり、一般参加者の聴講や進行の妨げになるようなことのないようにしてください。
6. 発表中のスクリーン映像は全て著作物です。許可のない撮影、また転載・放送等の二次利用はできません。
7. 録音は、対象セッションの座長・演者へ事前に申請し、承諾を得た場合、また、原稿にする際の確認として利用する場合に限り可能です。
8. ビデオ撮影、録音音声の二次使用は固くお断りいたします。
9. 会場内では、一般参加者が出入り可能な箇所には自由に入場・入室可能です。但し、各種委員会・打合せ室・控室への入室および取材はお断りします。
10. 共催セミナーにおいては、共催各社の承諾を得てください。
11. 展示ブースの撮影は、原則禁止です。各出展担当者の承諾を得た場合は、この限りではありません。
12. 取材後の掲載、放送予定日が決定された際には、運営事務局までお知らせください。なお、掲載紙（誌）につきましては、2部を後日運営事務局までご提出ください（送付先は下記を参照願います）。掲載内容によっては、削除いただく場合がございます。

13. 上記取材方法のいずれかに抵触あるいはその相当であると学術大会長、座長、事務局スタッフおよび会場スタッフが認めた場合には、取材の中止、取材の一部制限、取材方法やスケジュールの変更、取材者の一部または全員の退場を求めることがありますので、予めご了承ください。

### Ⅲ. その他

1. 本学術大会開催中、座長・演者などの本学術大会関係者、その他個人参加者への取材目的に関して、主催、運営事務局ならびに受付では、アポイントメントやスケジュールの調整、取材の仲介等は一切行いません。撮影・録画・録音等に関する許諾は、報道各社様の責任においてご手配ください。
2. 講演会場内での携帯電話、もしくはそれに代わる通信手段の使用を禁止いたします。また、マナーモードへの設定をお願いいたします。

### Ⅳ. お問い合わせ・掲載紙（誌）送付先

第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会運営事務局 運営事務局

（株式会社コンベンションリンクージ内）

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634

TEL: 075-231-6357 FAX: 075-231-6354 E-mail: [dock66@c-linkage.co.jp](mailto:dock66@c-linkage.co.jp)

以上